

## ⑦社会教育系施設

社会教育系施設は、「社会教育施設」である「生涯学習施設」2施設、「公民館」5施設、「青少年教育施設」1施設、「体験学習施設」1施設、「図書館等」4施設及び「子どもの家」6施設、「その他社会教育施設」である「青少年広場」15施設、「文化財等」5施設及び「倉庫等」2施設の計41施設があります。

### ア 施設類型別配置状況

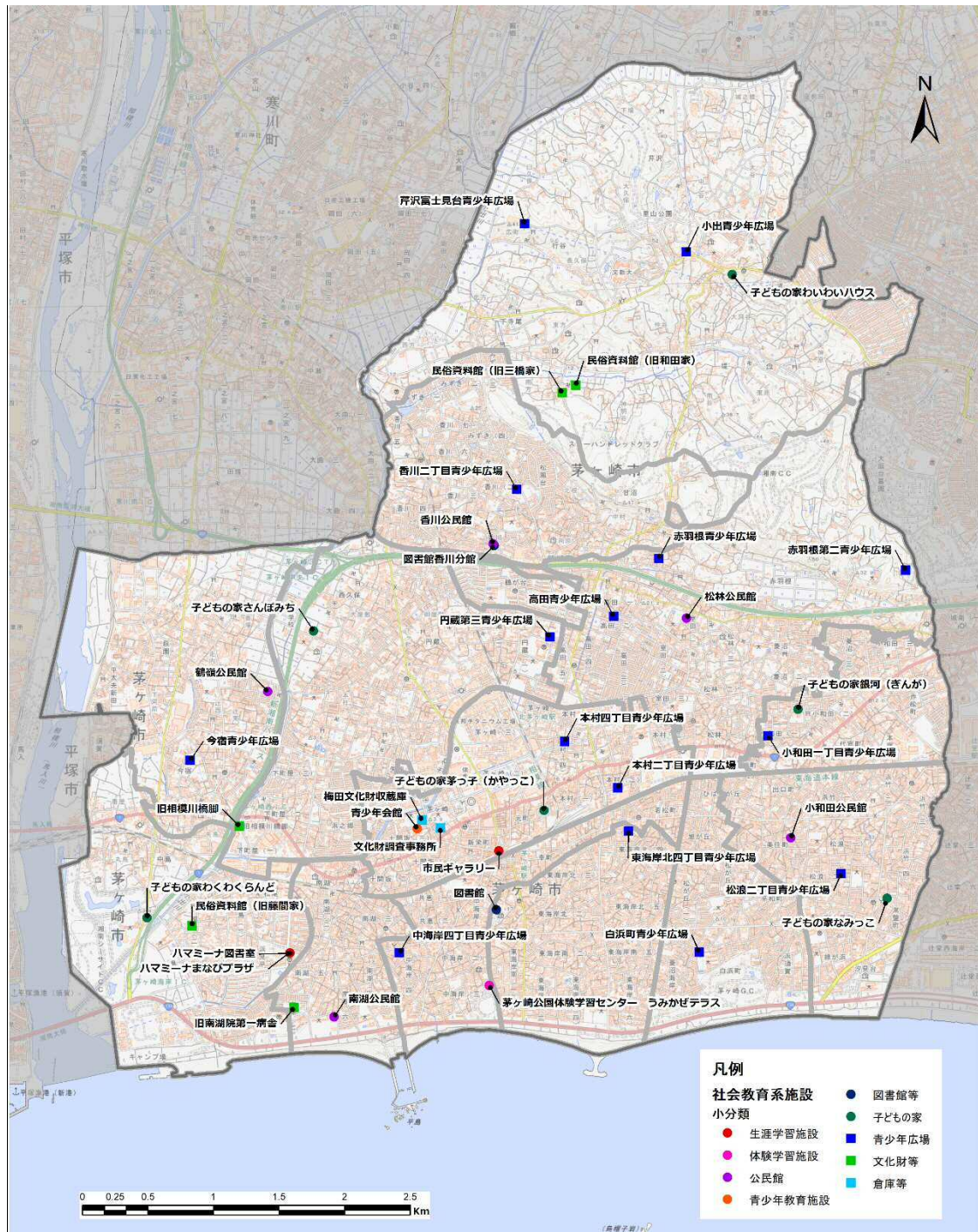


図 6-56 社会教育系施設の施設配置状況

## イ 施設基本情報

社会教育系施設の基本情報を以下に示します。

表 6-57 社会教育系施設の対象施設一覧

施設名称	利用圏域	地区区分	所有(建物)	管理方法	延床面積(建物)	建築構造	建築年度
ハマミーナまなびプラザ	市域施設	湘南	民間	直営	963	鉄骨造	H27
市民ギャラリー	市域施設	茅ヶ崎	市有	直営	811	鉄筋コンクリート造	H3
茅ヶ崎公園体験学習センター うみかぜテラス	市域施設	茅ヶ崎南	市有	直営	3,306	鉄筋コンクリート造	H30
小和田公民館	地域施設	松浪	市有	直営	791	鉄骨造	S54
鶴嶺公民館	地域施設	鶴嶺西	市有	直営	892	鉄筋コンクリート造	S57
松林公民館	地域施設	松林	市有	直営	836	鉄筋コンクリート造	S57
南湖公民館	地域施設	南湖	市有	直営	796	鉄筋コンクリート造	S59
香川公民館	地域施設	湘北	市有	直営	860	鉄筋コンクリート造	S63
青少年会館	市域施設	茅ヶ崎	市有	直営	1,833	鉄筋コンクリート造	S58
図書館	市域施設	海岸	市有	直営	3,186	鉄筋コンクリート造	S57
図書館香川分館	市域施設	湘北	市有	直営	250	鉄筋コンクリート造	S63
ハマミーナ図書室	市域施設	湘南	民間	直営	169	鉄骨造	H27
図書館分室(4公民館、1支所、1青少年会館)	市域施設	-	市有	直営	-	鉄筋コンクリート造	不明
子どもの家銀河(ぎんが)	地域施設	小和田	市有	指定管理	102	鉄筋コンクリート造	S62
子どもの家わいわいハウス	地域施設	小出	市有	指定管理	130	鉄筋コンクリート造	H5
子どもの家わくわくらんど	地域施設	湘南	市有	指定管理	117	鉄筋コンクリート造	H9
子どもの家茅っ子(かやっこ)	地域施設	茅ヶ崎	市有	指定管理	128	鉄筋コンクリート造	H13
子どもの家さんぼみち	地域施設	鶴嶺東	市有	指定管理	119	鉄骨造	H15
子どもの家なみっこ	地域施設	松浪	市有	指定管理	85	鉄筋コンクリート造	H26
小出青少年広場	地域施設	小出	民間	直営	-	-	-
今宿青少年広場	地域施設	鶴嶺西	民間	直営	-	-	-
赤羽根青少年広場	地域施設	松林	民間	直営	-	-	-
東海岸北四丁目青少年広場	地域施設	海岸	民間	直営	-	-	-
中海岸四丁目青少年広場	地域施設	茅ヶ崎南	民間	直営	-	-	-
円蔵第三青少年広場	地域施設	鶴嶺東	民間	直営	-	-	-
松浪二丁目青少年広場	地域施設	松浪	民間	直営	-	-	-
小和田一丁目青少年広場	地域施設	小和田	民間	直営	-	-	-
本村二丁目青少年広場	地域施設	茅ヶ崎	民間	直営	-	-	-
高田青少年広場	地域施設	松林	民間	直営	-	-	-
本村四丁目青少年広場	地域施設	茅ヶ崎	民間	直営	-	-	-
白浜町青少年広場	地域施設	浜須賀	民間	直営	-	-	-
赤羽根第二青少年広場	地域施設	松林	県	直営	-	-	-
芹沢富士見台青少年広場	地域施設	小出	県	直営	-	-	-
香川二丁目青少年広場	地域施設	湘北	民間	直営	-	-	-
民俗資料館(旧三橋家)	広域施設	小出	市有	直営	180	木造	1827
民俗資料館(旧和田家)	広域施設	小出	市有	直営	214	木造	1855
民俗資料館(旧藤間家)	広域施設	湘南	市有	直営	148	木造	S7
旧南湖院第一病舎	広域施設	南湖	市有	直営	231	木造	M32
旧相模川橋脚	広域施設	鶴嶺東	市有	直営	-	-	-
文化財調査事務所	その他施設	茅ヶ崎	市有	直営	315	鉄骨造	H13
梅田文化財収蔵庫	その他施設	茅ヶ崎	市有	直営	432	鉄骨造	H1

社会教育系施設の有形固定減価償却率(R2) = 71.0%

【コスト・利用状況】

大分類	中分類	小分類
社会教育系施設	社会教育施設	生涯学習施設、公民館、青少年教育施設、体験学習施設

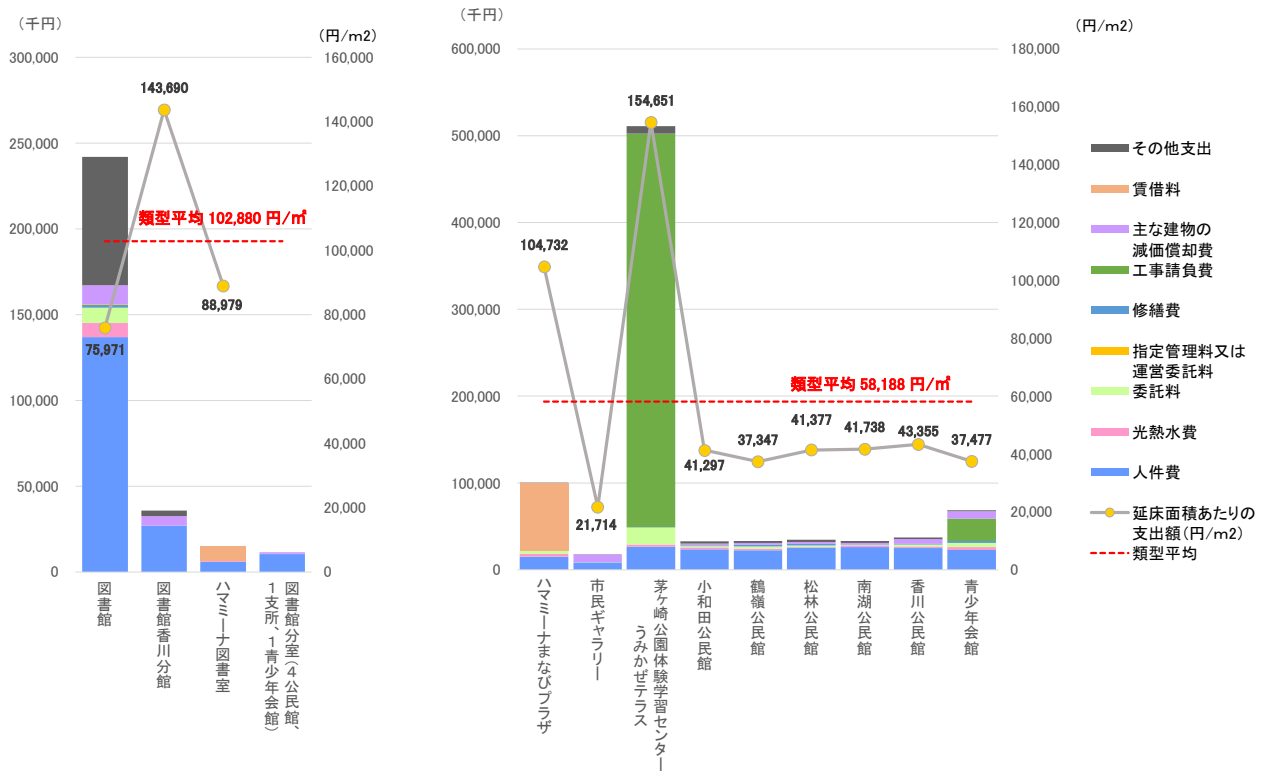


図 6-58 コスト状況（平成 29-令和元年度平均施設支出額）

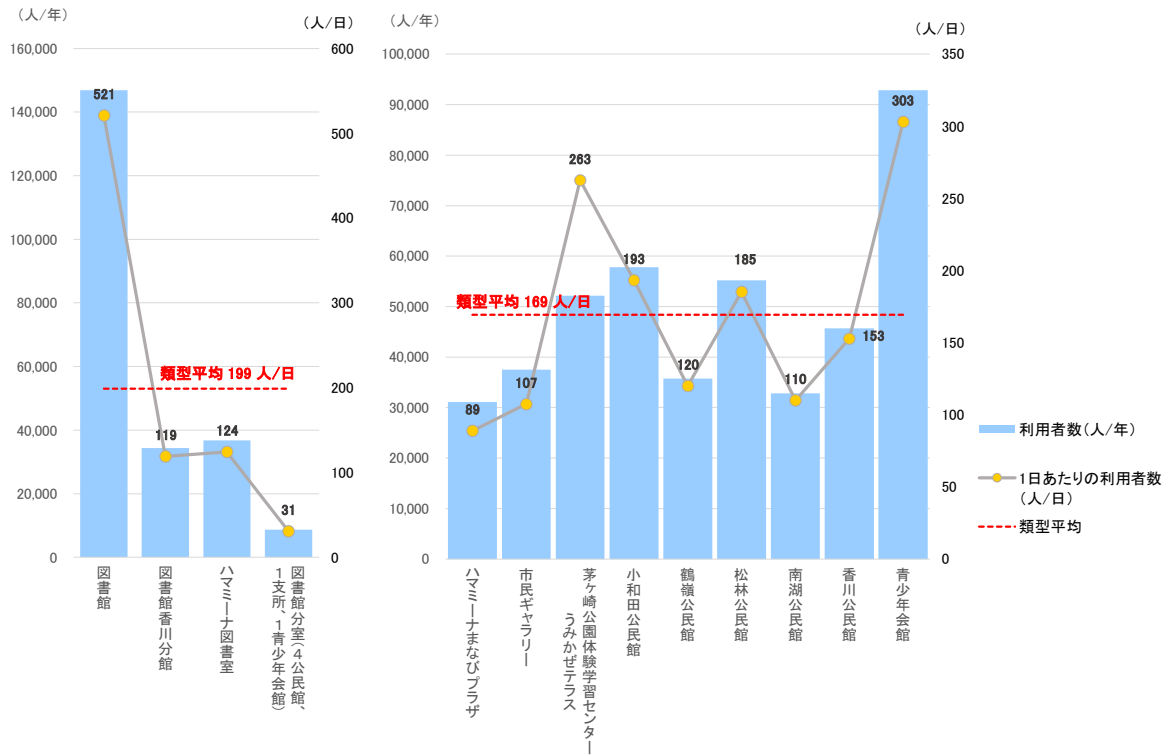


図 6-59 利用状況（平成 29-令和元年度平均）

※茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスは、平成 31 年 1 月に開設したため、上記グラフの利用状況は、平成 31 年 1 月～令和元年度までの平均値を表しています。

## 【コスト・利用状況】

大分類	中分類	小分類
社会教育系施設	社会教育施設	子どもの家



図 6-60 コスト状況（平成 29-令和元年度平均施設支出額）

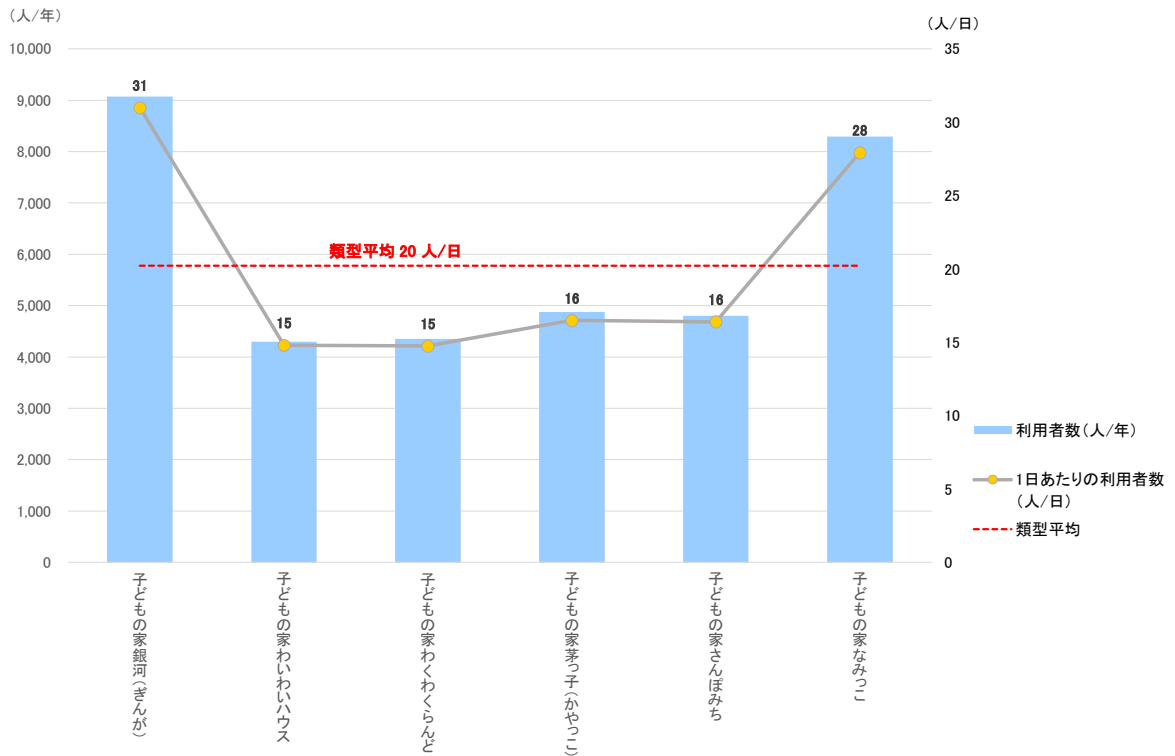


図 6-61 利用状況（平成 29-令和元年度平均）

【コスト・利用状況】

大分類	中分類	小分類
社会教育系施設	その他社会教育施設	青少年広場

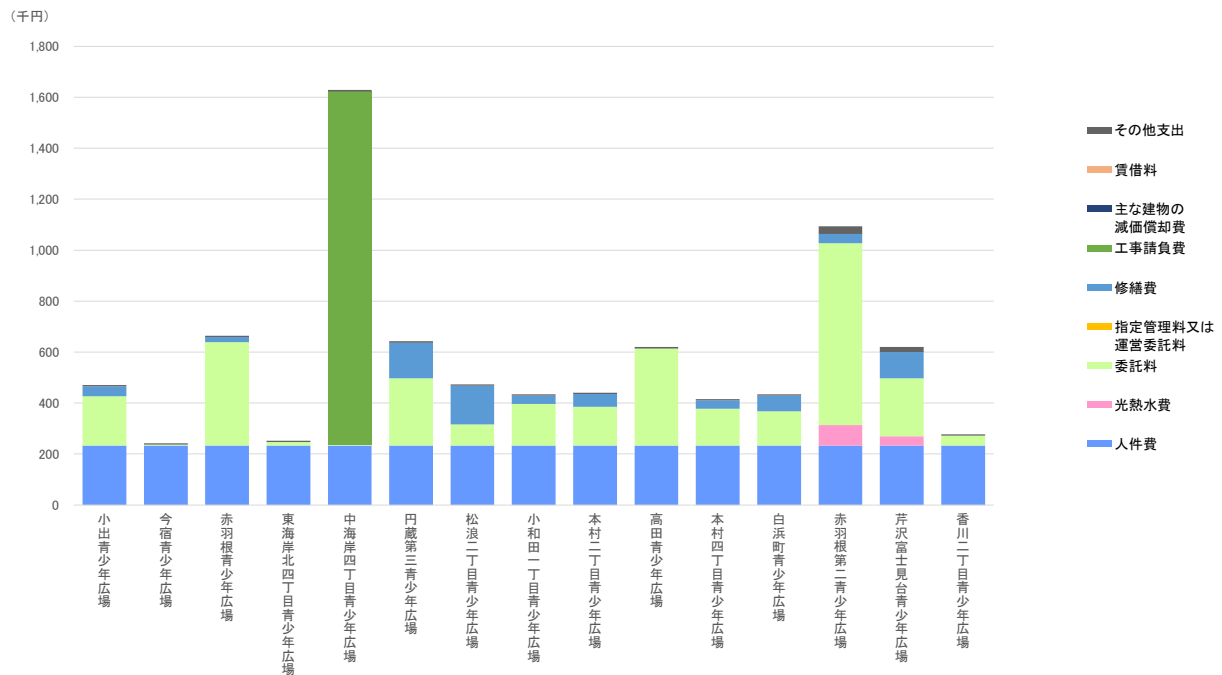


図 6-62 コスト状況（平成 29-令和元年度平均施設支出額）

【コスト・利用状況】

大分類	中分類	小分類
社会教育系施設	その他社会教育施設	文化財等、倉庫等

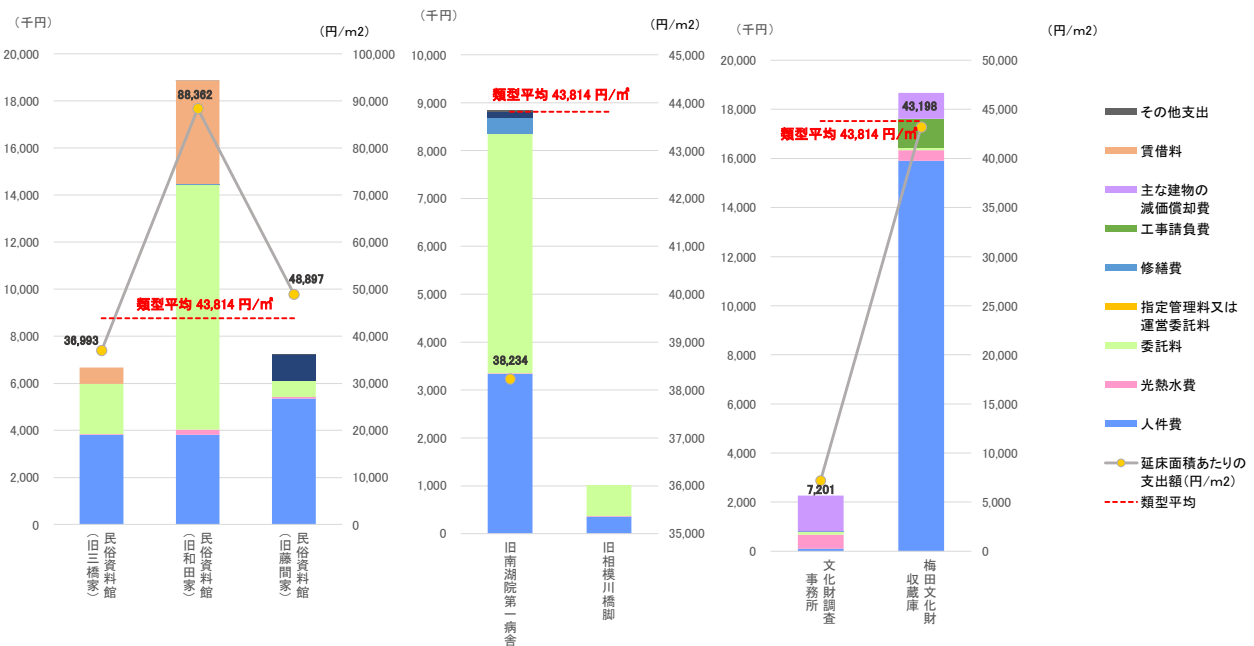


図 6-63 コスト状況（平成 29-令和元年度平均施設支出額）

## ウ 現状と課題

視点	現状と課題
コスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習施設、公民館、青少年教育施設、体験学習施設における延床面積あたりの支出額は 21,714～154,651 円/㎡となっています。この中でも、茅ヶ崎公園体験学習センターうみかぜテラスは、平成 30 年度に新築され、建設に係る工事費が含まれていることから、同類型施設よりも支出額が高くなっています。ハマミーナまなびプラザでは年間 78,185 千円の賃借料がかかっています。</li> <li>図書館等における延床面積あたりの支出額は 75,971～143,690 円/㎡となっています。ハマミーナ図書室では年間 8,335 千円の賃借料がかかっています。</li> <li>子どもの家では、指定管理者制度を導入しています。延床面積あたりの支出額は 32,028～46,197 円/㎡となっています。</li> <li>文化財等、倉庫等における延床面積あたりの支出額は 7,201～88,362 円/㎡となっています。この中でも、民俗資料館（旧和田家）は令和 2 年度に耐震改修工事を行ったため、同類型施設よりも支出額が高くなっています。また、旧南湖院第一病舎では、外観復元（全面塗装）を行ったため支出額が高くなっています。民俗資料館（旧三橋家）では年間 690 千円、民俗資料館（旧和田家）では年間 4,415 千円の賃借料がかかっています。</li> </ul>
ストック	<ul style="list-style-type: none"> <li>築 30 年以上が経過し、老朽化している建物が多くみられます。小和田公民館は、令和 3 年度に耐震補強改修工事を実施しています。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館では、1 日あたりの利用者数が 110～193 人/日となっています。</li> <li>子どもの家では、1 日あたりの利用者数が 15～31 人/日となっています。</li> </ul>

## エ 今後の方針

施設類型（中分類）	今後の方針
社会教育施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習施設は、周辺施設の配置状況やその利用状況などを踏まえ、同種・類似施設との統廃合や稼働率の低い貸室の転用、他用途との複合化などを検討します。</li> <li>体験学習施設は、施設の管理運営のさらなる適正化の推進を図るため、都市公園法の制限などに留意し、民間活力の活用や稼働率の低い貸室の転用による他用途との複合化などを検討します。</li> <li>公民館は、地域における社会教育の拠点として、地域の教育力向上のため、子どもから大人までが共に楽しく学び交流する機会を提供するなどの社会教育機能などは継続しつつ、同種・類似施設との統廃合や他用途との複合化などを検討します。</li> <li>青少年教育施設は、他の社会教育施設との役割整理を行い、類似施設との統廃合や稼働率の低い貸室の転用、他用途との複合化などを検討します。</li> <li>図書館等は、デジタル社会への対応を見据え、ICT や民間活力等の活</li> </ul>

	<p>用により、同種・類似施設との統廃合や稼働率の低い貸室の転用、他用途との複合化などを検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 子どもの家は、地域集会施設に併設する施設のため、各地域の人口構造やニーズ等の変化を考慮し、引き続き、地域と連携を図りながら安全・安心な子どもの遊び場の確保に努めます。</li> </ul>
<p><b>その他社会教育施設</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 青少年広場は、公園や広場などの公的利用空間の役割を整理し、今後の施設のあり方を検討します。</li> <li>• 文化財等は、茅ヶ崎の文化・歴史を後世へ継承するため、適切な維持管理に努めます。</li> <li>• 倉庫等は、周辺施設の配置状況やその利用状況などを踏まえ、稼働率の低い貸室を転用するなど、他用途との複合化などを検討します。</li> </ul>